

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		やまだ たかし				
氏名		山田 崇				
所属	名称	nanoda(なのだ)/信州大学 キャリア教育・サポートセンター				
	役職	代表 / 特任教授				
連絡	住所	〒 399-0703				
		長野県塩尻市広丘高出 372 番地 1				(自宅)
	連絡先	E-mail yamayama7188[アットマーク]gmail.com				
		TEL 080-1056-8017		FAX 0263-52-2006		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		・nanoda 代表 ・信州大学 キャリア教育サポートセンター特任教授 ・一般社団法人 ONEX 共同代表 ・株式会社シンカ(進化の学校運営) ・Voicy パーソナリティ https://voicy.jp/channel/3097 ・News Picks プロピッカー https://newspicks.com/user/879067 ・株式会社ドコモ gacco EduWork 事業開発室長/CLO(chief learning officer) 1975 年長野県塩尻市生まれ。千葉大学工学部応用化学科卒、1998 年塩尻市役所入庁。塩尻市が抱える地域・社会課題解決を官民連携により推進。 2012 年 4 月 15 日「空き家プロジェクト nanoda」をスタート。 2014 年に登壇した TEDxSaku で「ひとりじゃ円陣組めない」のタイトルで nanoda の活動を「計画的偶発性理論」で捉えた TED トーク が、Web 上で 30,000 シェア以上され、全国から注目となる。 2015 年から、塩尻市と信州大学との共同研究の一環で「地域ブランド実践ゼミ」を担当。 2022 年からは信州大学 キャリア教育・サポートセンター特任教授として引き続き「地域活性化システム論」「アントレプレナー実践ゼミ」「ローカル・イノベーター養成コース」を担当。 著書「日本一おかしな公務員」(2019.6.28 日本経済新聞社) “テクノロジーによる学び体験で誰もが自信をもって自分の人生を選べる世界を”というパーパスに共鳴し、2022 年 4 月より NTT ドコモグループの教育事業会社へ転職。 2024 年 4 月からは、「学ぶ×働く×AI で都市部と地域をつなぐ」新たな事業「地域越境ビジネス実践プログラム」の責任者。 《受賞経歴》 ・2013 年 11 月「長野県 地域発元気づくり大賞」大賞受賞(個店が輝くまちづくり事業 塩尻版「まちゼミ」)				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	・2014年1月「地域に飛び出す公務員アワード2013」大賞受賞 ・2015年11月「あしたのまち・くらしづくり活動賞(読売新聞主催)」主催者賞 ・2016年9月 グッドデザイン賞2016 受賞「MICHIKARA 官民協働リーダーシッププログラム」		
著作・論文等	・日本協働政策学会 公募セッション「市民による商店街活性化プロジェクトへの取り組み」(2013年12月) ・「50年後の塩尻市が豊かであるために①②/塩尻市職員意見交換会「しおラボ」」月刊「地方自治職員研修」, 公職研(2012年10月号、11月号) ・「日本一おかしな公務員」日本経済新聞出版社 2019年6月27日発売 ・「自治体と企業の連携」ローカルキャリア力に関する調査、ローカルキャリア白書2020(2020年4月20日) ・「地方自治体と大学の”連繋(れんけい)”による地域ブランド創造・地方創生事		
取組概要	「空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクト nanoda」を2012年4月から開始。 「地域の課題を想像で捉えるのではなく、実際に住んでみないと商店街の現状・課題はわからない」と、地元塩尻の”大門商店街”に空き家を借りて可能な限り身を置き、毎朝降りてしまったシャッターを開ける取り組みから、地域、大学生、首都圏の社会人を巻き込むプロジェクトに発展。毎月20日に塩尻産ワインを楽しむ「ワインなのだ」は2023年7月まで130回実施。取材、メディア掲載、講演依頼等により塩尻市の認知度向上、視察受け入れに寄与。		
メッセージ	2012年4月にスタートした「空き家プロジェクト nanoda」は、2023年7月現在、空き家／空き店舗を活用した様々なプロジェクトによって3軒が新たな拠点として再生。「目の前のひとりを救えない人に、みんなは救えない。」と、ローカルなコミュニティ視点で、様々な人を巻き込むまちづくりを実践。「地域の課題を想像で捉えるのではなく、現場で現状課題を知ることから」始まる活動により、「信州移住計画」など様々な新たなプロジェクトがスタートしています。また、2016年1月からは「MICHIKARA～地方創生協働リーダーシッププログラム」を、首都圏のプロ人材との協働による官民連携プロジェクトをスタート。地方の課題解決を民間企業のプロフェッショナル人材と協働実施するプログラムの全国展開を目指す。2015年から信州大学「地域ブランド実践ゼミ」を担当。ローカルイノベーターの養成、地域ブランド創造事業、シティプロモーション、移住定住促進をテーマに年15コマを担当。2022年4月からは信州大学 キャリア教育・サポートセンター特任教授(教育・産学官地域連携)。 株式会社ドコモ gacco では、人生100年時代の学びが体験できるオンライン動画学習サービス「gacco」、DX時代の新しい企業研修を提供する「gacco for Biz」、ビジネス創造力を養う「リベラルアーツ思考ビジネスプログラム」の設計・開発を推進。2024年7月に「地域越境ビジネス実践プログラム」をリリース。		
関連ホームページ	https://linktr.ee/yamayama_nanoda	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。